

令和8年度 第1回加西市タウンミーティング（主な意見・提案・回答等）

	質問内容	回 答	担 当
<大型事業>			
1	加西市は、他市町と比較しても体育施設が不足している。総合運動防災公園を早期に整備してもらいたい。	体育施設は、12年前に教育委員会から市長部局に移管され、強力に推進すると示されましたが、十分な整備ができておりません。剣道の東播大会が開催された際に当番市にもかかわらず、観客席を有する体育館が無いため小野市で開催させていただきました。活性化を図るためにも財政状況を見ながら進めていきます。	地域部
2	人口も減り、子どもも減っている状況で、総合運動防災公園や新病院の建設は、実施するのか。	共に財政状況を確認しつつ進めております。 総合運動防災公園については、30年前に運動公園用地として地元の協力を得て池を埋め立てた経緯があり、なかなか実施できなかったものを現在実施しています。国の補助金を活用するためにも事業費の大枠が決まる基本設計が必要になります。 新病院については、地域医療の確保のためにも進めていきます。今年度に基本設計が完了し、図面や金額が出てくれば、それをもとに改めて地域で説明会の開催を予定しています。新病院については市の中央部に位置するので、地域医療の拠点だけでなく、病院を核とした新たなまちづくりを計画しています。	地域部 病院事務局
3	新病院建設事業について総事業費の記載がなく、想定以上の事業費であれば事業はどうなるのか。	総事業費については現在基本設計中であり、事業費の算出後、説明会を実施し意見を伺いながら方針を検討します。	病院事務局
4	統合中学校や新病院の建設などの大型事業により、非常に大きな起債の借入総額になることが予想されるが、財政的に問題ないか。	起債の借り入れについては、国のセーフティーネット（起債制限）などの制度があり、借り過ぎて財政破綻となることはありません。投資による発展と財政状況をしっかり見ながら加西市の運営を行っていきますので安心してください。	総務部
<道路整備>			
5	道路修繕については、毎年度、同じ個所を要望しなければならないのか。 また、毎年度要望しているにも関わらず、修繕が進んでいない。	過去に要望いただいたものは、担当課で蓄積していますので、新規の要望だけ提出をお願いします。 道路修繕予算については、これまでの1億円から3億円に増額を行い、対応していますが、修繕が追いついていない状況です。	建設部
6	農業の機械化や農機の大型化などで、農道は轍ができたり、ひび割れしたりするなどの荒れた状態です。農業の振興や、そのための農機の大型化への支援という意味で、農道の補修工事をお願いしたいです。	多面的機能支払交付金事業の対象区域だと考えられ、他の事業と重複して補助することができないことになっています。可能であれば、多面的機能支払交付金事業の予算の中で舗装工事を検討くださるようお願いします。	産業部

＜学校・教育＞			
7	リーディングスキルトレーニング、コグトレオンラインについて教えていただきたい。	文章を正しく読む力は非常に重要であり、リーディングスキルトレーニングは、集中力も含めて読み書きを鍛えるために行っております。コグトレオンラインは、教員の指示に対し、子どもたちが理解をしたうえで動いているかなど、認知機能を高めるために、トレーニングするものです。	教育委員会
8	北条高校の元気がないように感じ、魅力がないようにも感じる。市外の高校に通う子どもも多いが、もっと地元を盛り上げるという意味でも、学校の活性化を図ってはどうか。市から北条高校への補助はどうなっているのか。	北条高校は小規模ですが、進学実績を含め、皆とても頑張っています。ただ規模の大きい学校と比べるとどうしても厳しい部分はあります。魅力づくりという面では、ロサンゼルスへの短期留学の実施も魅力の一つかなと思います。今年は周辺高校でほぼ定員割れでしたが、一番定員割れ数が少なかったのが北条高校でした。ご意見も踏まえながら、校長とも相談していきます。 北条高校には、加西商工会議所の方が寄付を集めて補助をされ、市も補助をしている状況です。県立高校なので本来は県の役割ですが、加西市では議会のご理解をいただき、他地域と比較しても大きな支援ができています。 また、北条高校の存続についても県へ要望しているところです。	政策部
9	スクールバス運行事業について、先般他県であった事故等問題が発生する恐れはないのか。	市の運転者及び運行業者へ徹底して教育を実施しています。	教育委員会
10	スクールバスについて、学校までの距離が2km以上を対象とされているが、これは直線距離もしくは実際のルートどちらで決定されるのか。	実際に子どもたちが歩いているルートの距離です。	教育委員会
11	中学校が統合され、今まで自転車で登校していたのがバス通学となり、子どもの体力面や運動能力の低下を心配している。また、安全面については、自転車の交通違反取り締まりが強化されたことにより、生徒への自転車ルールの周知が必要ではないか。 さらに、保護者による送迎の車が多くなり、新しい学校の校門付近の渋滞も懸念されることから、対応が必要ではないか。	自宅から4km以上の生徒はバス通学を基本としていますが、体力をつけるためや体力がついてくれば等の理由で自転車通学を選択することも可能であり、必ずバス通学でないといけないというわけではありません。また、通学路については、自転車も通れる歩道を通して通学ということになりますが、一部自転車では通れない歩道もありますので、現在警察と協議を行っているところです。 保護者の送迎車に関しては渋滞を防ぐため、できる限り左折での進入を徹底し、広い駐車場で生徒を降ろしていただくなど、ルールの検討をしていきます。	教育委員会
12	子どもの通学バスの件ですが、バス利用のできる子は距離で制限されている。通学中、心配なこともあり、子どもの数も減っていることから、全員がバスを利用できるように検討してほしい。	運転手確保の課題もあり、全員がバスを利用するというのは現実的に難しいと考えています。通学距離の2Kmというのは全国や近隣でも一つの基準になっており、加西市も基準としています。個別に大変なところがあれば学校と相談していただくことになりますが、保護者の送迎も可能なので、それも含めてご検討をお願いします。	教育委員会

＜かさいライフナビ＞			
13	かさいライフナビを使いこなせない高齢者(主に75歳以上)に対応を検討してほしい。	市からは紙も併用しながら、情報発信を行っていきます。	政策部
14	かさいライフナビの3,000ポイント付与について、市外在住者の扱いや、スマホを持つ子どもも対象になるのか。	市外在住であっても市内在勤者などは登録可能です。ポイント利用は市内に限定されるため、地域経済の活性化につながります。また、確実な災害情報伝達を目的としており、スマートフォンを所持していれば子どもを含め全員を対象としています。	政策部
15	かさいライフナビ加入促進事業について、新しく加入される方のみが対象か。	過去に登録されている方も対象となります。今回のポイント付与を機に、ねっぴ～payを普及し、地域経済の活性化を図ることも目的の一つです。	政策部
16	かさいライフナビについて、区長からの発信に加え、シニアクラブからの発信もあるが、許容範囲はあるのか。民生委員、いきいき委員長なども区長のアカウントを使用し、発信しているが、区長アカウントから発信するにあたって取り決めはあるのか。	目的は、地域の連絡網ですので、連絡が必要とあれば使ってもらって大丈夫です。プライバシーの点もありますが、普通の回覧板として利用してもらっていいです。広く利用していただきたいというのが思いです。	政策部
17	かさいライフナビの件ですが、以前に震度3の大きな地震があったが、その際にかさいライフナビから地震の情報が流れなかったのはなぜか。	かさいライフナビの地震情報は、兵庫県の防災システムと連動しており、震度4で情報が流れる仕組みとなっています。	政策部
18	かさいライフナビとエリアトークを並行して利用している。現在、西在田学童跡にエリアトークのサーバーが設置されているため、当分の間維持して置いていただけないか。かさいライフナビは設定次第では訃報が、地域外の人にも発信されることが課題と感じている。	学童の建物自体は残しますので、サーバーへの影響はないと考えています。ただ、エリアトークの生産が終了していることもあり、施設の活用方法と残し方については地域の意見を伺いながら検討を進めていきます。かさいライフナビの情報発信の(区域)設定については、システム上難しい状況です。	政策部
＜草刈支援＞			
19	草刈機械整備補助金について、締切が近いとのことだが、どういった状況か。	区長を通じて、農会長へ調査票をお送りしております。できるだけ多くの自治会に利用していただきたいと考えております。予算が不足する場合は、9月補正を検討します。	産業部
20	草刈り機の補助について、町内では傾斜が40-45度と急な場所もあり、ラジコン等でも導入は難しい状況である。	急斜面では、草刈り機械の限界があり、対応が難しい状況は理解しています。草刈り支援について、他の地域からもいろいろな意見をいただいていますので、担当部署と相談し、地域の皆さまの意見を参考にしながら、対策を検討します。	産業部
21	草刈り機購入補助はありますが、草刈りの人員が不足している状況。草刈りの作業に対しても補正などで支援をお願いしたい。 また草刈り機の補助率は1/3と聞いているが、もう少し補助率を上げていただけないか。	草刈りの担い手不足は他地区でも伺っていますが農地は個人の財産であり、ご自身で守っていただくことが基本である、とお答えしています。環境保全も兼ねているため草刈り機購入補助はしていますが、補助率は他の助成制度とのバランスを踏まえて3/10としております。なお、作業支援は現在のところ、具体的な事業はなく難しい状況です。要望として承っております。	産業部

＜学校跡地活用＞			
22	日吉小学校の跡地利用についてはどのように進んでいるか。	現在、日吉地区ふるさと創造会議である日吉の輪と、跡地活用について意見交換会を開催しています。夏以降に詳しい話ができと考えていますが、市としては校舎を解体し住宅開発を考えています。	政策部 建設部
23	現在、日吉の輪と担当課で意見交換を行っており、校舎を5年以内に解体すれば国から補助が出ると伺っている。また、グラウンドを残して欲しいという意見が出ている。	校舎の解体およびグラウンドの利用についても協議の中で検討を行いたいと考えております。	政策部 建設部
24	宇仁小学校の跡地利用について手を挙げられている民間企業があるが、地域の20～30年後を見据えて施設をどう活用していくかについて、住民みんなで話し合う時間を確保していただきたい。	前回のタウンミーティングでもお話ししたとおり、地域の声を聞いて活用方法を考えていくというスタイルは変わっていません。今後、1年間ほどかけてじっくり熟慮しながら検討していきます。	政策部 建設部
＜その他、市政に関すること＞			
25	高齢者の移動支援について、タクシーチケットの配布事業を拡充してはどうか。	「免許返納支援タクシー券」の利用率が低いため、調査・検討を行い、利用率が向上し高齢者の移動支援につながるよう、令和7年10月から「高齢者タクシー利用助成制度」を制定しました。 本制度では、運転免許証を自主返納された65歳以上の高齢者に加え、75歳以上の運転免許証を所持していない方も対象とし、範囲を拡大しております。 助成内容は、お渡しした利用者証（有効期限5年）を使用されることで、タクシー利用金額の半額（上限2,000円/回）を助成し、回数制限は設けていません。これにより利用者也増加している状況です。	福祉部
26	タクシー利用補助金について、申請時に窓口への来庁を必須とされているが、75歳の独居の方で移動手段がないため市役所まで行くことができないという話を聞いた。何らかの対策はないか。	以前は、タクシー利用券を配布しておりましたが利用率が低い状況でした。そのため、昨年10月から、対象者の方に利用者証を交付し、乗車時に提示いただくことで利用料金の2分の1（1回につき上限2,000円）を助成する運用に変更しました。 現在、利用者証の交付申請時にはご本人の窓口来庁を基本としておりますが、市が地域の公民館等にお伺いするなど、さらなる利便性向上に向けて検討を行います。	福祉部
27	人口減少が進む中、赤い羽根共同募金や消防団、シニアクラブの割当、また各町に対する委員等への就任要請などは変わらず続いており、負担が大きくなっていると感じている。自治会への支援もありがたいが、省力化など整理を進めてもらいたい。	各自治会も人口が減っており、区長をはじめ、皆さんの負担が大きくなっていることは理解しております。引き続き、負担軽減に向け、検討を行ってまいります。	地域部
28	河川の草刈りについて、地元が年1回実施しているが、市でも年1回草刈りをしてもらえないかという要望が初総会で出たがどうか。	河川堤防の草刈りですが、現在は県と市が連携して地元へ補助金をお出ししています。 現状、市が全面的に作業を行うことは難しいですが、補助金の増額といったご要望であれば、加東土木事務所へ交渉することは可能です。	建設部
29	県の事業にはなるが、河川の土砂が堆積して、木が生えているところがある。除去して欲しいが、景観との兼ね合いで、ホテルと共生できる方法での対応はできないか。	この問題は、環境保全と堆積物の除去のバランスを考慮しながら対応する必要があります。堆積物の除去が進むとホテルの生息地が失われる可能性もあるため、慎重な検討が必要となりますので県とも協議したいと思います。ただ、河川断面が無くなると、強制的に除去せざるを得ないことは、ご理解いただきたいと思います。	建設部

30	河川に井関があり、町で維持管理しているが、機械室でオイル漏れを起こしている。市で点検してもらえるようになったが、町で維持管理するには費用負担が重い状況。市の方で検討いただけないか。	まずは点検調査を実施し、状況を報告させていただきます。	産業部
31	高齢者が増えているのに救急車を1台減らしている理由は。	北はりま消防になり、加西市は3署で他の市町は2署となっており総合的に判断されました。多可町は昼間のみの対応でしたが、夜間も対応できるようにしています。	政策部
32	2年前にアクアス周辺の開発について説明があったが、それ以降の進捗はどうか。	どのような形で土地利用するか協議させていただいています。住宅団地、商業地、工業地のどれがいいのか、用途を組み合わせるのかの計画を模索している状況です。さらに地元のご意見をいただきたいと思います。役員を対象とした勉強会の開催も調整します。	建設部
33	子育て支援の無料化は手厚いが、市外への周知が不足しているように思う。人口減対策としてもっとPRを強化すべきではないか。	SNS等でも発信しているが、関心層に届ける難しさもあります。仕事や住環境を含めた「総合力」で選ばれるよう、PRの手法をさらに検討します。	政策部
34	息子夫婦が市外に転出した。若い世代に対して施政方針が伝わっていないのではないかと。市長がSNSなどで積極的に発信すべきではないか。	市公式のSNSで発信を行っています。	政策部
35	北条鉄道について、中古車両ばかり購入しているが、部品の供給は問題ないのか。	JRの現役車両であり、部品調達に問題ありません。また、新型車両は乗降口が現行車両より高く、ホームを嵩上げする必要が生じます。ホームの改良工事は運行を止めずに行うため、費用が高額となり、難しいと考えています。	政策部
36	自走式トイレカーに関して、防災リュックの購入補助を考えてほしい。	頂いたご意見を参考にさせていただきます。	政策部
37	自走式トイレカーを地域のイベントで貸出してほしい。	防災意識を高めていただくために貸出を検討します。	政策部
38	子育て支援として、「子育て応援5つの無料化」事業を進めているが、そもそも適齢期に結婚されていないケースも見受けられる。大阪などはマッチングアプリに入っている人に支援をしているが、加西市はどうか。	婚活パーティーなどを行い、マッチングを行っておりますが、成果が芳しくありません。兵庫県の事業とも連携しながら、取り組んでいきます。	地域部
39	タウンミーティングについて、1時間と限定されると意見が出しづらい。また、説明および資料は参加者にわかりやすいよう、工夫してほしい。	対応を検討します。	総務部

40	回覧板のバインダーが古くなっている。市から提供いただけないか。	まちづくり課で無料配布しているので、お問い合わせください。 ＜追記＞ バインダーは、過去には市から全自治会に一斉配布を行ったこともあります。現在は在庫がなくなっており、市からの新たな配付は行っていない状況でございます。 バインダーにつきましては、自治会様の自主的な運営の中でご準備いただく物品ということをご理解いただき、誠に恐れ入りますが、各自治会様にてご用意くださいますようお願いいたします。	地域部
41	学校の体育館を利用しているが、空調を利用すると1時間あたり、1,000円かかる。減免にならないか。	他市町と同様ですが、体育館の空調費用については利用者負担をお願いしております。	教育委員会
42	小学校の旧運動場や新運動場に雑草が生えてきているが、除草は年何回ぐらい予定されているか。	教育委員会で管理しており、除草の回数は決めていませんが、見苦しい状態とならないよう草刈りを定期的実施していく予定です。	教育委員会
43	下水道(本管)が整備されていない地域があり、そのエリアでは個人で浄化槽を設置しているため、今回の上下水道料金の減免対象にはならない。物価高騰の影響は同様にあるので対策を検討いただけないか。	今後の物価高対策では、より多くの市民が恩恵を受けられる事業を検討します。	総務部 環境部
44	令和8年7月から西脇市の窓口時間が16:30に短縮されると聞いた。加西市は窓口時間短縮の予定はないのか。窓口時間短縮が、市民のサービス向上のためになるのか検討していただけないか。	加西市においても、11月の附属棟のオープンを目的に検討しています。マイナンバーカードを活用することで、全国どこでも住民票や所得証明書等をコンビニで窓口よりも安い手数料で取得できるなどの利便性が向上しています。一方で全国的に一元処理する必要があるため、残業の増加といった課題も出てきています。開庁時間を長くすることはサービス向上にはなりますが、経費も発生するため、総合的に検討していきます。	政策部
45	市役所の窓口対応が良くなった。複数の窓口に行くがいずれも、すぐに対応してもらえ、丁寧に説明を受けることができ、うれしく、気持ちが良かった。	職員にとって大変励みになります。	総務部
46	数年前からナラ枯れで池や給水の溝、民家にも大木が倒れてきています。倒木に対する対策支援もお願いできないか。土地の所有者とも相談できず、早急な対応が必要な際は役員中心に対処している。里山整備事業だけでは困難なため、是非お願いしたい。	ナラ枯れ被害拡大防止といたしまして、県の補助メニューではございますが伐採駆除等の対策があります。 土地所有者の承諾等一定地元のご協力が必要にはなりますが一度農林整備課までご相談いただければと思います。	産業部
47	あったか推進のつどい開催は自治会の負担が大きいです。	あったか推進のつどいは、世代を超えた地域住民相互の交流を図っていただくことを目的として自治会単位で開催していただいています。 これまで、自治会における金銭的負担の軽減を図るため補助制度の拡充を図ってきました。 役員の皆さまの労力負担が大きいものと理解していますが、引き続き開催をお願いします。	福祉部